

おぢやエネルギー通信

令和2年12月25日発行 第3号



小千谷市は、地球温暖化抑制や地域の活性化を目指し、再生可能エネルギーの普及拡大に取り組んでいます。この通信では、今年度の小千谷市の取組内容をお知らせします。

再生可能エネルギーの導入可能性調査を行っています

今年度、小千谷市では、昨年度策定した『小千谷市エネルギービジョン』に基づき、重点プロジェクトとして掲げた「地域産業における化石燃料から再生可能エネルギーへの利用転換」、「公共施設における再生可能エネルギー設備の導入」のため、次の取組を行っています。

取組1 錦鯉関連施設への再生可能エネルギー導入の検討



民間養鯉場や錦鯉の里における再生可能エネルギーの導入可能性を検討しています。

【検討内容】

養鯉場や錦鯉の里のエネルギーの使われ方などを調査し、再生可能エネルギーの導入モデルを検討

【目標】

- 池の加温等にかかる経費の低減
- 災害時の電源確保
- 錦鯉発祥の地の知名度向上



錦鯉関連施設への再生可能エネルギー導入に関する意見交換会を開催しました

令和2年10月9日(金)に第1回意見交換会を開催しました。会議には、学識者、養鯉業者、錦鯉の里管理者、市内団体代表者の皆さまからご参加いただきました。

第1回は、錦鯉関連施設のエネルギー利用状況等の確認や今後の検討方針の協議を行いました。今後、再生可能エネルギー導入に向けて、**太陽光発電**、**地中熱ヒートポンプ**、**バイオマスボイラー**などの利用について検討を進めます。



第1回意見交換会の様子

取組2 旧小千谷総合病院跡地整備事業での再生可能エネルギー導入の検討

公共施設における再生可能エネルギー設備の導入に向け、旧小千谷総合病院跡地整備事業での導入を検討しています。

旧小千谷総合病院跡地(本町1丁目)では、今後、図書館を核とした複合施設の建設を予定しており、**太陽光発電**、**地中熱ヒートポンプ**の導入を検討します。



再生可能エネルギー設備を使用している施設を視察しました

令和2年11月16日(月)に「再生可能エネルギー設備導入施設見学会」を実施しました。商工会議所、市内事業所の皆様にご参加いただき、身近なところで再生可能エネルギーが使われている様子を見学しました。

太陽光発電設備

パチンコ玉三郎 小千谷店 (小千谷市桜町)

平成30年に全国で初めて立体駐車場の屋上に設置された太陽光発電設備です。576枚の太陽光パネルを取り付け、発電した電気は、売電せずに自家消費しています。

積雪による影響を受けないよう、パネルを40度傾斜させ、架台を2m上げるなどの工夫を行っています。

国の補助金を利用して導入しました。電力料金を大きく削減することができ、好天の日、時間帯によっては店舗の全電力を太陽光発電でまかなうことができます。災害時には、発電した電気を近隣住民の方に供給することもできます。



屋上に設置された太陽光パネル



設備見学の様子

バイオマスボイラー

株式会社千手 いちごはうす (十日町市水口沢)

いちご栽培ハウス内の暖房にかかる燃料代を削減するため、稲刈り時期に大量に発生する「もみ殻」を利用したバイオマスボイラーを平成25年に導入しています。

バイオマスボイラーから不凍液を循環させ、2棟のいちごハウスの培地を温めています。

処分に困っていたもみ殻を有効活用することで、年間の灯油使用量を約55%削減できました。もみ殻燃焼後に出る「くん炭」は、土壌改良剤や融雪剤として販売できるため、収入増にもつながりました。



バイオマス(もみ殻)ボイラー



いちごハウス内の様子

地中熱ヒートポンプ

太陽光発電設備

十日町地域消防本部庁舎 (十日町市四日町新田)

平成28年の新庁舎建設の際に、深さ100mの井戸を13本設置し、年間を通して一定温度(13~14℃)の地中熱を取り込み、事務室の冷暖房や階段などの融雪に利用しています。

太陽光発電設備は、積雪による影響を受けないよう、壁面に64枚のパネルを設置しています。

地球環境や非常時のことを考えて導入しました。事務室の空調は24時間使用するため、地中熱利用により光熱費が年間約415万円節減できました。CO₂排出量は、太陽光発電と合わせて年間約36トン抑制されています。



外壁に設置された太陽光パネル



地中熱ヒートポンプ